

平成30年度  
大学院医工農学総合教育部  
修士課程学生募集要項

看護学専攻

出願方法がWeb出願に変更になります

学力検査日：平成29年10月17日(火)

出願登録期間：平成29年9月25日(月)～平成29年9月29日(金)

※この期間内に、Web出願登録、検定料納入及び出願書類の郵送【必着】のすべてを完了している必要があります。

Web出願サイト：<https://syutugan.yamanashi.ac.jp>



UNIVERSITY  
OF  
YAMANASHI

山梨大学

(<http://www.yamanashi.ac.jp>)

## 《アドミッション・ポリシー》

### ◇大学院医工農学総合教育部修士課程の理念・目標とアドミッション・ポリシー

#### [理念・目的]

現代社会が直面する課題の解決に応用でき、また、これら応用研究の基礎となる学術研究を、国際的視野を持って創造的に推進する優れた研究者並びに高度で専門的な知識と能力を有する職業人を養成する教育・研究を行います。

#### [教育目標]

専門知識及び開発能力、問題発見・解決能力、国際的コミュニケーション能力を修得し、専門技術者・研究者として社会に貢献できる人材の養成を目指します。

#### [アドミッション・ポリシー]

専門領域の基礎的学力を持ち、さらなる知識の修得意欲があり、高度の研究や応用を目指し、その成果を社会に還元しようとする人を求めます。

#### 看護学専攻

看護学の実践や研究を遂行できる基礎学力を備え、人間・健康・環境・看護について深い興味と問題意識を持ち、それを実践する人を求めます。

# 目 次

## 募 集 要 項

1	募集人員	1
2	教育研究領域	1
3	出願資格	1
4	出願手続等	2
5	入学者選抜方法	4
6	合格者の発表	5
7	入学手続	5
8	授業料	5
9	その他の経費	5
10	その他	5

## 入 学 案 内

1	目的	6
2	構成	6
3	授業科目の概要及び担当教員	6
4	学位	6
5	履修方法	6
6	大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例	7
7	長期履修学生制度	7
8	入学料及び授業料の免除制度、入学料徴収猶予制度	7
9	奨学金制度	8
10	学生教育研究災害傷害保険	8

〔添付書類様式〕

受験承諾書  
研究計画書

## 募集要項

### 1 募集人員 14人（社会人特別選抜を含む。）

### 2 教育研究領域

基礎看護学	臨床看護学
地域看護学	高齢者看護学
精神看護学	感染看護学
産業保健看護学	排泄看護学
国際看護学	母性看護学
小児看護学	

### 3 出願資格

次の各号のいずれかに該当する方

- (1) 学校教育法第83条に定める大学を卒業した方及び平成30年3月卒業見込みの方
  - (2) 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された方及び平成30年3月までに学士の学位を授与される見込みの方
  - (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した方及び平成30年3月までに修了見込みの方
  - (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目をわが国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した方及び平成30年3月までに修了見込みの方
  - (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した方及び平成30年3月までに修了見込みの方
  - (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された方又は平成30年3月までに授与される見込みの方
  - (7) 文部科学大臣の指定した方（昭和28年2月7日文部省告示第5号）
  - (8) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した方及び平成30年3月までに修了見込みの方
  - (9) 平成30年3月末現在において大学に3年以上在学した方、又は外国において学校教育における15年の課程を修了した方及び平成30年3月までに修了見込みの方で、本学の大学院において所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた方
  - (10) 大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した方と同等以上の学力があると認められた方で、入学の時点で22歳に達している方
- (注) ① (9)、(10)により入学を志願しようとする方については、事前に出願資格の審査を行いますので、出願資格審査の書類を9月4日（月）（必着）までに入試課宛に提出してください。出願資格審査提出書類は、<http://www.yamanashi.ac.jp/admission/45> あるいは山梨大学HP>入試情報>大学院入試>募集要項・選抜方法からダウンロードし、使用してください。審査結果は、9月21日（木）に本人宛に通知します。
- (注) ② (9)により出願できる方は看護師・保健師・助産師のいずれかの免許を有し、大学での修得単位数が、原則として98単位以上の方とします。

#### 【社会人特別選抜についての注意事項】

社会人特別選抜に出願することのできる方は、上記の出願資格のいずれかに該当する方で、看護師・保健師・助産師のいずれかの免許を有し、出願時に3年以上の看護関連業務の実務経験を有する方とします。

## 4 出願手続等

### 【事前準備】

インターネットに接続されたパソコン等（スマートフォン・タブレット端末を含む）、出願書類を印刷するためのプリンター、利用者登録時に必要となるメールアドレス・顔写真の画像ファイル、出願書類の郵送に必要な角型2号封筒（24 cm×33.2 cm）・362 円分の切手を準備してください。

募集要項は、Web 出願サイト内でも確認できます。

#### (1) 出願方法

以下の①から③までの全てを順番に行ってください。

① Web 出願サイトから出願情報を登録

↓

② 入学検定料の納入

↓

③ 出願書類の印刷・作成・郵送【必着】

#### (2) 出願期間

平成29年9月25日（月）～9月29日（金）【必着】

**※出願期間内に上記（1）の①、②及び③の全てを完了している必要があります。いずれか1つでも受付期間中に完了していない場合は、出願を受理することはできませんのでご注意ください。**

#### (3) Web 出願サイト

<https://syutugan.yamanashi.ac.jp>

Web 出願サイトへは、上記 URL からアクセスできます。

画面の案内に従って、志願者の個人情報及び出願情報等を登録してください。

#### (4) 検定料の納入

**入学検定料 30,000 円**

- ・検定料支払画面にて決済方法を選択し、支払手続を行ってください。
- ・一度納入した入学検定料は、理由のいかんにかかわらず返還しません。
- ・全ての支払方法に対して、別途手数料が必要になります。

利用できる方法は以下の通りです。

① 「クレジットカード」

クレジットカードの名義は、志願者本人である必要があります。

② 「コンビニエンスストア」

支払い可能なコンビニエンスストアは、Web 出願サイトで確認してください。

③ 「金融機関 ATM（ペイジー）」

Pay-easy マークの付いている ATM で支払うことが可能です。

④ 「ネットバンキング」

事前に金融機関での口座開設が必要です。

### 【入学検定料の免除について】

山梨大学では、東日本大震災及び熊本地震により被災した山梨大学入学志願者の平成30年度選抜試験入学検定料の免除措置を行います。

免除を希望する方は、Web 出願サイトで出願情報の入力を完了する前に入試課へお問い合わせください。本学からEメールにより、入学検定料免除コードを送信しますので、コードを入力後、出願登録を完了してください。

免除申請書類等の詳細につきましては、山梨大学ホームページ ([http://www.yamanashi.ac.jp/examination\\_list](http://www.yamanashi.ac.jp/examination_list)) で確認してください。

(5) 出願書類等

入学志願者は、次に掲げる書類等を一括して受付期間内に提出してください。  
出願書類には、各自が準備するものと、Web 出願サイトから印刷して提出するものがあります。  
一度受理した出願書類は、いかなる理由があっても返還しません。

No.	書類等	一般選抜	社会人特別選抜	摘要
1	封筒貼付票	○	○	出願書類印刷ページから印刷し、各自で用意した角型2号封筒(24 cm×33.2 cm)に貼り付けてください。
2	成績証明書	○	○	出身大学等が作成し、厳封したもの。
3	卒業(修了)証明書又は卒業(修了)見込証明書	○	○	出身大学等の定める様式
4	履歴書	○	○	出願書類印刷ページから印刷した「履歴書」を提出してください。
5	切手	○	○	出願書類印刷ページから印刷した「郵便切手貼付用紙」に、362円分の切手を貼り付けてください。
6	研究計画書		○	本要項添付の様式に看護研究のテーマ、目的、動機(背景を含めた問題意識)、方法等について記入してください。
7	免許証の写		○	看護師、保健師及び助産師の免許証の写し。(A4サイズに縮小してください。)
8	在職期間証明書		○	3年以上の看護関連業務の実務経験について、勤務先が証明したもの(様式は任意)を提出してください。
9	受験承諾書	○	○	在職のまま在学しようとする方は、出願に際して本要項添付の様式により、勤務先が承諾する受験承諾書を提出してください。
10	その他	○	○	・日本国籍を有しない方は、市区町村長が交付する「住民票」を提出してください。 ・改姓により各証明書等の氏名が異なっている場合は、戸籍抄本を提出してください。

(6) 出願書類等の提出方法

各自で用意した市販の角型2号封筒(24 cm×33.2 cm)を使用し、「封筒貼付票」を貼り付けて、必ず郵便局から**書留速達郵便**にて送付してください。

持参の場合は、出願期間中の9時から16時30分の間に本学入試課窓口において受け付けます。

※ 郵便事情を考慮し、必ず受付期間内に本学へ到着するようにしてください。

※ 出願書類印刷ページから、「提出書類チェックリスト」を印刷し、書類が全て揃っているかを確認してから提出してください。

(7) 受験上及び修学上の配慮を必要とする入学志願者との事前相談

病気・負傷や障害等で受験上及び修学上の配慮を必要とする方は、事前にご相談ください。

(8) 出願書類等の提出先及び出願全般に関する照会先

〒400-8510 甲府市武田4丁目4-37 山梨大学教学支援部入試課  
電話 055-220-8046

- (9) Web 出願に関する問い合わせ先  
山梨大学教学支援部入試課 電話 055-220-8055

### 【出願上の留意事項】

- ① 出願書類に不備がある場合は、受理しないことがあるので十分注意してください。
- ② 出願書類の記載事項と事実が相違していることが判明した場合は、入学後であっても入学を取り消すことがあります。
- ③ 受理した出願書類は、いかなる理由があっても返還しません。
- ④ Web 出願登録完了後は、いかなる理由があっても、出願内容の変更は認めません。

## 5 入学者選抜方法

### (1) 選抜方法

- ① 一般選抜 成績証明書、学力検査、口述試験等の結果を総合的に判断して選抜します。
- ② 社会人特別選抜 成績証明書、学力検査、研究計画書、口述試験等の結果を総合的に判断して選抜します。

### (2) 学力検査等

日 時	試 験 科 目	一般選抜	社会人特別選抜
平成 29 年 10 月 17 日 (火)	13 : 00 ~ 14 : 00	○	
	14 : 15 ~ 15 : 15	○	○
	15 : 30 ~	○	○

- (備考) 1 小論文Ⅰは、志望する教育・研究領域の基礎知識について日本語又は英語で論述する。  
2 小論文Ⅱは、看護学に関するトピックスについて日本語又は英語で論述する。  
3 口述試験は、志望する教育・研究領域の口頭試問を行う。  
4 小論文Ⅰ、Ⅱに遅刻した場合は、試験開始30分以内に限り、受験を認めます。ただし、試験終了時間は変更しません。

### (3) 試験場

山梨大学医学部キャンパス看護学科教育研究棟 (別図参照) (試験開始10分前までに入室してください。)

## 6 合格者の発表

合格者の発表は、平成29年11月17日(金)午前10時に医学部キャンパス看護学科教育研究棟玄関前に掲示するとともに、合格者には合格通知書を郵送します。

なお、合格者の受験番号をホームページ (<http://www.yamanashi.ac.jp>) にも掲載しますが、最終的な確認は合格通知書で行ってください。(電話等による合否の問い合わせには応じかねます。)

## 7 入学手続

- (1) 入学手続の期日は、平成30年1月17日(水)～1月19日(金)です。
- (2) 納入金は、入学料 282,000円(予定)です。  
入学料は、入学時に改定されることがあります。また、既納の入学料はいかなる理由があっても返還しません。
- (3) 入学手続関係書類は、合格通知書とともに郵送します。

## 8 授業料

- 前期分 267,900円 [年額 535,800円] (予定)
- ・授業料は、予定額であり、入学時及び在学中に納入金の改定が行われた場合には、改定時から新たな納入金が適用されます。
  - ・授業料は原則、口座引き落としとなっています。手続については、別途案内します。

## 9 その他の経費

学生教育研究災害傷害保険料等の経費が必要です。

## 10 その他

出願にあたって知り得た氏名、住所その他の個人情報については、①入学者選抜（出願処理、選抜実施）、②合格発表、③入学手続業務、④統計調査を行うために利用します。また、入学者選抜に用いた試験成績は、今後の入学者選抜方法の検討資料の作成のために利用します。

なお、入学者については、知り得た個人情報を①教務関係（学籍、修学指導等）、②学生支援関係（健康管理、就職支援、授業料免除・奨学金申請等）、③授業料徴収に関する業務を行うために利用します。



# 入 学 案 内

## 1 目的

本学看護学専攻(修士課程)は、ケアの受け手と提供者双方の意向に即したサービスを総合的、一体的に提供できる体制を整え、質的に高い看護サービスを提供できる看護専門職、教育者及び研究者を育成することを目的とします。

## 2 構成

### (1) 課程及び修業年限

- ① 本学看護学専攻の課程は、修士課程とします。
- ② 本学看護学専攻の修業年限は、2年を標準とします。

### (2) 授業科目及び単位数

別表1のとおり

## 3 授業科目の概要及び担当教員

別表2のとおり

## 4 学位

- (1) 学位の名称は、修士(看護学)とします。
- (2) 修士の学位は、大学院に2年以上在学し、30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けたうえ、修士論文の審査及び最終試験に合格した方に授与します。ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた方については、1年以上在学すれば足りるものとします。

## 5 履修方法

大学院共通科目から、必修1単位、選択必修1単位以上、主教育・研究領域に関する特論2単位、演習6単位、特別研究12単位、その他、大学院共通科目、専攻共通科目、専門科目から8単位以上の、合計30単位以上を履修するものとします。

履修基準表

専攻名	科目区分	必修・選択の別	授業区分	必要単位数
看護学専攻	大学院共通科目	必修	講義	1単位
		選択必修	講義	1単位
	専門科目	選択必修	講義	2単位
			演習	6単位
			特別研究	12単位
	専攻共通科目 または専門科目	選択	講義または 演習	8単位以上
	合計			

## 6 大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例（昼夜開講）

看護学研究は、看護実践上の問題をテーマとして行うことが重要であり、学部卒業後に臨床経験・実践経験を持つことは、看護学をより深く迫るために重要であります。

しかし、これら有職者が大学院に進学する場合には、その勤務を離れて修学することが必要となるため、大学院教育を受ける機会が制限されがちです。

このため、本学修士課程においては、大学院設置基準第14条「教育方法の特例」を適用し、これら有職者が離職することなく修学することが可能となるよう、昼間だけでなく夜間その他特定の時間又は時期に教育・研究指導を受けることができるよう、開講します。

履修方法は、以下のとおりです。

- (1) 月曜日から金曜日までの18時10分から21時20分、土曜日及び夏季・冬季の休業期間中に開講される講義、演習、特別研究の授業等を履修でき、研究指導も受けられます。
- (2) 履修計画については、指導教員のもとに作成します。

## 7 長期履修学生制度

この制度は、職業を有していること等の理由により学習時間が制約される方のために、標準修業年限（2年）を超えて一定期間（最長4年）にわたり計画的に教育課程を履修し課程を修了することができる制度です。履修すべき総単位数は、2年で修了するものと同じですから、年間の時間的負担は相当軽減されることになります。

本制度に関する問い合わせは、医学域学務課教務グループ（大学院担当）（電話055-273-9627）までお願いします。

## 8 入学料及び授業料の免除制度、入学料徴収猶予制度

### (1) 入学料免除

次のいずれかに該当する方は、本人の申請に基づき、選考のうえ、入学料の全額又は半額を免除することがあります。

- ① 経済的理由により入学料の納入が著しく困難であり、かつ、学業優秀と認められた方
- ② 入学前1年以内において学資負担者が死亡し、又は入学する方若しくは学資負担者が風水害等の災害を受け、入学料の納入が著しく困難であると認められた方

### (2) 入学料徴収猶予

次のいずれかに該当する方は、本人の申請に基づき、選考のうえ、入学料の徴収を猶予することがあります。

- ① 経済的理由により入学料の納入が著しく困難であり、かつ、学業優秀と認められた方
- ② 入学前1年以内において学資負担者が死亡し、又は入学する方若しくは学資負担者が風水害等の災害を受け、入学料の納入が著しく困難であると認められた方

### (3) 授業料免除

次のいずれかに該当する方は、本人の申請に基づき、選考のうえ、授業料の全額又は半額を免除することがあります。

- ① 経済的理由により授業料の納入が著しく困難であり、かつ、学業優秀と認められた方
- ② 授業料の納入前6ヶ月以内（入学時あっては入学前1年以内）において学資負担者が死亡し、又は入学する方若しくは学資負担者が風水害等の災害を受け、授業料の納入が著しく困難であると認められた方

## 9 奨学金制度

日本学生支援機構の奨学金制度があります。貸与額は、第一種（無利息）は、修士課程（博士前期課程）が月額50,000円、88,000円、第二種（利息付）は、月額50,000円、80,000円、100,000円、130,000円、150,000円より選択になります。（平成29年度）

その他の奨学金制度もあります。詳細については医学域学務課学生支援担当（電話055-273-9334）へお問い合わせください。

## 10 学生教育研究災害傷害保険（任意加入）

学生が教育研究活動中及び通学中に受けた災害・傷害に対し、その被害救済を目的とする互助共済制度です。保険料は2年間で2,790円です。

## 授 業 科 目 及 び 単 位 数

(平成 29 年度)

部門	授業科目名	履修 年次	単位数			備考
			必修	選択必修	選択	
共 大 通 学 科 院	科学者倫理	1	1			
	キャリアマネジメント	1		1		
	サイエンスコミュニケーション	1		1		
専 攻 共 通 科 目	看護保健統計論	1			2	
	看護環境論	1			2	
	看護教育論	1			2	
	看護研究方法論	1			2	
	看護倫理学特論	1			2	
	看護実践方法論	1			2	
	看護管理学特論	1			2	
遺伝看護学特論	1			2		
専 門 科 目	基礎看護学特論	1		2		
	基礎看護学演習	1		6		
	基礎看護学特別研究	2		12		
	臨床看護学特論	1		2		
	臨床看護学演習	1		6		
	臨床看護学特別研究	2		12		
	地域看護学特論	1		2		
	地域看護学演習	1		6		
	地域看護学特別研究	2		12		
	高齢者看護学特論	1		2		
	高齢者看護学演習	1		6		
	高齢者看護学特別研究	2		12		
	精神看護学特論	1		2		
	精神看護学演習	1		6		
	精神看護学特別研究	2		12		
	感染看護学特論	1		2		
	感染看護学演習	1		6		
	感染看護学特別研究	2		12		
	産業保健看護学特論	1		2		
	産業保健看護学演習	1		6		
	産業保健看護学特別研究	2		12		
	排泄看護学特論	1		2		
	排泄看護学演習	1		6		
	排泄看護学特別研究	2		12		
	国際看護学特論	1		2		
	国際看護学演習	1		6		
	国際看護学特別研究	2		12		
	母性看護学特論	1		2		
	母性看護学演習	1		6		
	母性看護学特別研究	2		12		
小児看護学特論	1		2			
小児看護学演習	1		6			
小児看護学特別研究	2		12			

注 1) 各授業科目の概要及び担当教員は「別表 2」を参照してください。

注 2) 本募集要項に掲載している授業科目は、変更になる場合があります。

## 授業科目の概要及び担当教員

(平成 29 年度)

部門	授業科目	講義等の概要	担当教員
大学院 共通科目	科学者倫理	現代社会では国際的に通用する高い倫理性とリスクに対する適切な対応が求められている。本講義では、高度専門職業人として求められる職業的倫理を涵養するために技術者・研究者倫理、生命倫理、環境倫理等について講義する。過去に科学者倫理を問われた国内外の事例を紹介するとともに、適切な研究データの取扱い方、実験ノートの重要性、科学論文作成上の注意点等の研究不正防止に関わる具体的事項について説明をする。	中尾教授 宮澤教授
	キャリア マネジメント	大学院修了後の進路を確かなものとするための「考え方」を涵養し、産業界や地域社会において高度専門職業人として活躍するために必要な人間力を育成する。自身の将来を考えさせるキャリアデザインにとどまらず、周囲と協調して仕事を行ってゆく上で必要となる、ワーク・ライフバランスやハラスメント防止に関する知識など、人的マネジメントや組織マネジメントについても理解を深める。講義はオムニバス形式とするが、主体的に参加させるために、通常の講義と双方向型の演習形式を組み合わせる。	谷本教授 ※ 1 風間教授 ※ 1 柴田教授 ※ 1
	サイエンス コミュニケーション	専門家ではない人々に対して、科学の重要性や、研究の成果を正しく伝えることの重要性が高まっている。本講義では、高度専門職業人としての表現能力・交渉能力を磨き、国際的な通用性と信頼性を向上させるため、コミュニケーションの方法論について学修する。受講者には自分の研究内容を他者に伝えるためのプレゼンテーションを課し、その内容を相互に評価しあうことで、コミュニケーション能力を養うトレーニングを行う。英語による口頭発表、及び論文の作成法についても講義する。	中尾教授
専攻 共通科目	看護保健統計論	看護事象について、統計的手法を用いて明らかにする研究手法を修得させる。看護事象の多くは通常複雑な要因が絡み合ったものであり、数理的手法によって、これらの事象を概念化したり、理論化することが可能となるので、看護事象の解明のための研究方法として有用と考えられる。この場合、扱う変数は単変量であることは少なく、多くの場合多変量である。従って、データの収集法から始まり分析に至る一連の過程について、基本統計学、多変量解析などの手法を教授する。さらに、これを実際に応用できるように、自ら収集したデータを用いて EXCEL、JMP IN、HALBAU7 などの代表的統計ソフトを用いて演習する。	宮村教授 中本教授
	看護環境論	看護対象者、看護職の身体及び精神的状態は、様々な環境によって左右され、看護実践に際して環境的因子を十分に配慮する必要がある。そこで、最近話題になっている環境問題を取り上げ、看護との関わりを教授する。	宮村教授 田辺教授
	看護教育論	看護学教育の問題と課題を多面的に分析し、将来への展望を論ずる。看護学の基礎教育は動機づけ理論、継続教育ではキャリアマネジメントと関連づけて思考し、学習者にとって有効な看護学教育について考究する。	坂本准教授

専攻共通科目	看護研究方法論	多様な看護事象を解明し、看護実践に有用な理論の構築を促進するための研究方法を習得する。本講義では、専門知識と技術の向上をめざす研究過程についての理解を深めるとともに、周辺学問領域で活用されている研究手法の看護学への応用について修得する。	中込教授 他
	看護倫理学特論	近年、臓器移植、安楽死、遺伝子診断、生殖補助医療、虐待などの問題に直面する看護職には、対象者の利益と権利の擁護といった理念に基づいた倫理的判断が求められている。本講義では、看護倫理に関する基本的知識を習得するとともに、具体的な臨床・臨地場面で生ずる倫理的問題を分析し対処方法を学ぶことで、看護実践に活かせる倫理の考え方を身につけることを目標とする。	水野教授 坂井助教
	看護実践方法論	現状の看護実践を改善し、質の良い看護サービス提供のためのコンサルテーションについて、コンサルテーションの概念、コンサルタントの役割、コンサルテーションの過程について学習し、事例を通してコンサルテーションの実際についての理解を深める。	小林教授 石川教授 白井非常勤講師
	看護管理学特論	保健医療福祉サービスにおける質の高い看護サービスを効果的・効率的に提供していくために求められる看護管理の理論と実践を学ぶとともに、看護管理に関する病院運営・経営と情報システムおよび法律・制度や看護政策についての理解を深める。	浅川教授 坂本准教授 井部非常勤講師 田中非常勤講師
	遺伝看護学特論	遺伝的課題を有する人やその血縁者の健康課題に対応した看護について学ぶ。これからの遺伝医学の発展に伴うヘルスケアの変化に対応するための基礎的能力を習得する。	中込教授
専門科目	基礎看護学特論	看護実践の基礎となる援助技術について、生理学、人間工学、感染制御など他の学問領域も参考にしながら学習し、科学的思考に基づいた技術の根拠について追及する。 対象者の QOL を高める方策を検討しながら支援の在り方を学ぶ。	田辺教授 浅川教授
	基礎看護学演習	看護研究の基礎能力を身につけることを主眼とする。そのため各種の看護系論文をクリティークしながら講読する。学生は自分が選択したテーマに合った論文を提示し、内容の紹介、その後論文を批評する。	田辺教授 浅川教授
	基礎看護学特別研究	基礎看護学特論及び演習等での学習成果を踏まえて、看護理論、患者教育、看護実践に資する看護技術や教育方法等に関する課題、さらに、感染者に対するケアの方法や院内感染対策に関する課題について、科学的な方法を取り入れた研究を行い、修士論文を作成する。	田辺教授 浅川教授
	臨床看護学特論	成人期の慢性・急性疾患を有する事例を用いて、患者の日常抱える問題を生活面から分析し、予防、治療、回復過程における有効な専門的援助技術と指導方法について修得する。 事例が抱える問題を予防、治療、回復過程に沿って、看護の視点で科学的に分析し、事例の生活管理能力向上に直結する指導方法を、理論と実践の両面から修得する。内外の文献を用いて質の高い臨床看護について考究する。	坂本准教授 西田准教授 古屋講師

専 門 科 目	臨床看護学演習	<ul style="list-style-type: none"> <li>慢性・急性疾患患者の問題を多面的に分析し、指導から生活力向上に向けての看護方法を理論と実践の視点で思考し、臨床看護の質の向上に役立つ、科学的でかつ専門的な看護技術の開発に関する研究方法について、内外の文献を活用してセミナー形式で検討する。</li> <li>慢性・急性疾患患者の生活管理を阻害する因子を看護の視点で分析し、臨床看護の質の向上に役立つ科学的でかつ専門的な援助・指導技術の開発に関する研究方法について文献を用いて討議する。</li> <li>臨床看護師の実践能力の向上等について、科学的でかつ専門的な知識を用いて、看護師の質の向上の研究方法について文献を用いて討議する。</li> </ul>	坂本准教授 西田准教授 古屋講師
	臨床看護学特別研究	特論、演習を踏まえて研究計画を立て、慢性・急性疾患患者の回復過程における生活管理能力向上のための、専門的看護技術の提供、専門的指導技術の開発に関する看護方法について、面接調査法ならびに実験法等を用いて研究し、修士論文を作成する。	坂本准教授 西田准教授
	地域看護学特論	人々が家庭や地域など生活の場において、健康問題の解決に取り組むことを助ける地域看護学の特質を伝えるために、地域における看護ニーズの把握方法、看護を保健・医療・福祉システムの中に有効に機能させる方法を論述する。	相原教授 宮村教授 神崎准教授
	地域看護学演習	<p>特別研究テーマと関連深い看護実践の分野の課題に実地に携わり、理論の検証・追試と高度看護実践に関わる専門技術の習熟を図る。また、演習の一部として学部教育の地域看護学実習の指導に参加し教育実習を行う。</p> <p>地域ケアシステム構築方法、予防活動展開方法、公衆衛生看護管理等の主要な課題について地域の看護専門職の実践活動を素材に文献購読を含むゼミ形式で行う。</p> <p>地域における健康問題に影響を及ぼす諸要因について、健康調査などの実際のデータを分析し、その結果を地域にフィードバックするという作業をとおして研究方法を論述する。</p>	相原教授 宮村教授 神崎准教授
	地域看護学特別研究	<p>一定の行政区域を単位として、看護サービスを中心とした医療や福祉を含むケアの提供方法と専門技術開発・発展のための基礎的研究能力を養う。また、特別研究実施過程をとおして高度なケア実施力、ケアの組織化、リーダーシップ能力を身につけることをめざす。</p> <p>在宅療養者の看護ニーズの調査、援助課題の明確化、ケアシステムに関与する看護専門職の認識構造から援助の在り方を追求する。</p> <p>一定の行政区域の住民及び生活機能集団を対象として、演習によって学んだ様々な研究方法を駆使し、健康問題に影響を及ぼす諸要因を追求し、地域における健康問題の解決方法を導く。</p>	相原教授 宮村教授 神崎准教授
	高齢者看護学特論	加齢現象と高齢者の健康問題の特性に関する知識、および保健医療福祉施設における健康問題をもつ高齢者とその家族に対する看護実践に求められる包括的な知識の修得をめざし、合わせて老人看護専門看護師の多様な役割について認識を深める。	谷口准教授 新田非常勤講師
	高齢者看護学演習	高齢者と家族を支援する保健医療福祉サービスにおける看護の専門性を探求し、看護の実践・相談・教育に求められる基礎能力を修得する。	谷口准教授 新田非常勤講師

専 門 科 目	高齢者看護学特別研究	老年期にある高齢者とその家族の生活を支援するための看護実践について研究計画をたて、研究を実施し、修士論文を作成する。	谷口准教授 宮村教授
	精神看護学特論	精神疾患患者、メンタルヘルスの問題を抱える人とその家族を理解するために必要な知識、求められる看護実践について修得する。 精神疾患患者と家族の支援、心の健康づくりのための実践、精神保健福祉看護における課題と展望について考察するとともに、援助技法の理論的背景についての理解を深める。	水野教授
	精神看護学演習	国内外の先行研究の検討を通して、精神疾患患者、メンタルヘルスの問題を抱える人と家族に対する看護実践について研究する。そして、当該領域における現状と課題を整理し、自身の研究テーマと研究方法を具体化する。	水野教授
	精神看護学特別研究	精神看護学領域における実践の質の向上のために必要な研究課題について研究計画を立案し、実施し、修士論文を作成する。	水野教授
	感染看護学特論	感染症をひきおこす微生物と宿主の免疫についての基礎的な知識を学び、種々の病原体の性状、感染症の発生要因、感染防止対策、無菌法、感染症者や易感染者への看護について教授する。	田辺教授
	感染看護学演習	感染症をひきおこす微生物と宿主の免疫についての基礎的な知識に関する事項について、演習や文献講読を通し、国内外の現状及び課題を知り、自らの研究に繋げることを目指す。	田辺教授
	感染看護学特別研究	院内感染の防止対策、感染症者へのケア、新興・再興感染症の発生に対する対応、および地域における看護活動の中から課題を自ら見出し、適切に研究計画を立案し、科学的かつ論理的に調査・分析を実施し、修士論文を作成する。	田辺教授
	産業保健看護学特論	労働現場での保健活動の要として期待されている産業看護職が、労働者と共同で産業保健活動を行うための幅広い知識を得ることを目標とする。産業保健・看護活動の実践には、健康問題を捉えるだけでなく、職場の環境、作業の内容、労働者と事業者の関係さらには社会の状況なども多面的に考える能力が必要となるため、産業保健に関係する保健学・公衆衛生学、医学、看護学、心理学、経営学を総合的に学ぶ。	宮村教授 水野教授 山縣教授
	産業保健看護学演習	労働現場に潜在する健康問題について精査し客観的な指標として示すことができるようになることを目標として、論文・資料の検討、討議を行い、テーマ毎にプレゼンテーションを行う。さらにそれらを基に、職場での実施を想定した健康教育の計画、実施、評価を行う。	宮村教授 水野教授 山縣教授
産業保健看護学特別研究	特論、演習を基に、労働現場に潜在する健康問題について研究を行い、修士論文を作成する。	宮村教授 水野教授 山縣教授	



専 門 科 目	排泄看護学特論	排泄障害をもつ対象者を理解し、排泄障害による問題や課題のある対象者に対する排泄看護について学ぶ。ストーマ・排泄リハビリテーション看護を発展させるための基礎的能力を習得する。	谷口准教授 石川教授
	排泄看護学演習	特別研究テーマで扱う特定の排泄障害領域と排泄看護に関連する諸因子について、事例報告、研究報告を参考にしながら演習する。	谷口准教授 石川教授
	排泄看護学特別研究	医療に貢献でき、かつ結果が信頼できる新たな知見を見出すことを目標にする。 排泄看護学特論および演習を通して、排泄学領域における看護の質の向上のために必要な研究課題を見出し、適切な手法を用いた研究を行い、科学的に論述した修士論文を作成する。	谷口准教授 石川教授
	国際看護学特論	国際看護に関わる基礎概念を学ぶ。また、国際保健や国際看護が取組む様々な健康課題とその対決のための諸活動・研究事例を検討し、国際看護の現状と課題を理解する。	宮本教授
	国際看護学演習	世界の、特に発展途上国の様々な健康課題の解決のために、看護が求められていることは何かを、国際看護に関わる事例報告や研究報告、様々なデータを検討し、考察する。	宮本教授
	国際看護学特別研究	主として発展途上国の人々が直面する様々な健康課題を解決するために、看護が貢献しうる様々な可能性の一つとして、各自の研究を実施し、修士論文を作成する。可能であれば、発展途上国のフィールド調査を実施し、研究論文とする。	宮本教授
	母性看護学特論	親になる過程に焦点をあて、この過程の中で生じる心身の変化、倫理的課題、取り巻く社会状況と医療システムにおける看護・助産の役割について、科学的エビデンスに基づいて探求する能力を養う。	小林教授 中込教授
	母性看護学演習	母性看護・助産学、あるいは遺伝看護学領域における効果的な支援方法や改善につながる理論や実践方法について探求する。	小林教授 中込教授
	母性看護学特別研究	母性看護・助産学、あるいは遺伝看護学に関する研究課題を探求し、研究計画に基づき、看護学に貢献する修士論文を作成する。	小林教授 中込教授
	小児看護学特論	子供の成長・発達、子どもと家族の相互作用に関する諸理論を学修し、看護の対象者の理解を深める。また、現代の家庭、社会環境の変化、医療技術の進歩に伴った看護上の諸問題について探求する。	石川教授 安藤講師
	小児看護学演習	関心のある先行研究の検討を行い、子どもと家族への看護上の課題を見出し、発表や討論を通して課題解決の方法を探求する。それを基に研究課題を明確にし、研究課題に取り組むための研究方法を具体化する。	石川教授 安藤講師
	小児看護学特別研究	小児看護学特論および演習での学びを踏まえ、修士論文の作成を通して、小児看護の専門性を育成する。	石川教授

※1 他学域教員

※2 本募集要項に掲載している授業科目は、変更になる場合があります。

受験 番号	※
----------	---

## 受 験 承 諾 書

山 梨 大 学 長 殿

このたび、が貴大学院医工農学総合  
教育部修士課程看護学専攻を受験することを承諾します。

なお、本人が貴大学院に入学した場合、在職のまま在学することを認めます。

平成 年 月 日

(機関名・職名)

(氏 名)

⑩

# 研究計画書

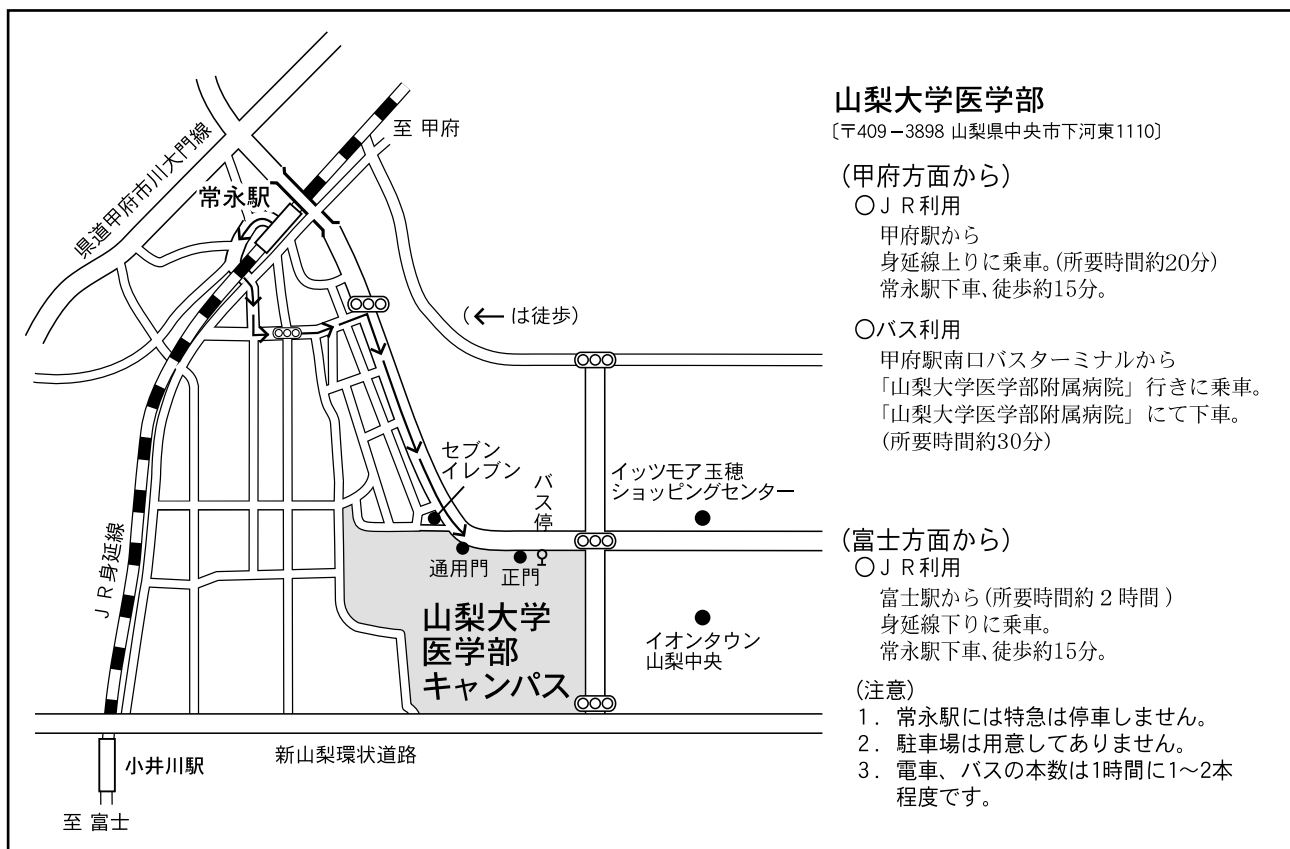
大学院医工農学総合教育部修士課程看護学専攻

氏名		生年月日	昭和 平成	年 月 日生	受験番号	※
志望する教育研究領域						
研究テーマ						
研究目的						
研究の動機						
研究方法						
1. 対象						
2. データ等の収集方法						
3. データ等の分析方法						

(注) ※欄は大学側で記入します。

※記入欄が足りない場合は、裏面に記入してください。

# 山梨大学医学部キャンパス周辺図



# 山梨大学医学部キャンパス構内案内図

